



ずっと今のいい状態でいたいから、
これからも通い続けます！

「良くしたい」という気持ちに迷いながらも、インプラントは高額なもの。患者さんが金額のことと慎重になるのは当然のことです。そんなとき、西方さんが気がねなく相談できたのも吉田さんでした。

「吉田さんは聞き上手だし、私にとってホッとする存在。だから先生や他のスタッフにはなんともなく聞きにくかったお金のこと、吉田さんには聞けたんです」

こうして気になつていたことがすべてクリアになってからは、とにかく早く良くなりたいという一心でたといします。手術を開始したのは、来院してわずか2ヶ月後のことでした。

そして手術後に待つていたのは、うれしい変化ばかり。

「硬いものも思いっきり噛めるようになったのはもちろんですが、一番大きかったのは気持ちの変化です。みんなと一緒に笑いながら楽しくおしゃべりできるようになりました」

私が明るくなつて付き合いが良くなったせい、最近では友達からの誘いもひっきりなし。「食事に行こう」「映画に行こう」「日帰り旅行はどう？」って。仕事もしているから疲れているときはちやうと休ませてもらうくらい(笑) お口の中の変化によつて、みるみる明るい気持ちになっていった西方さん。歯科医院への通いかたも、これまでとは違います。

「前の歯医者さんでは、半年に一度歯石を取りに来て下さい」と言われても、治療が終わつてしまつと特に必要性を感じませんでした。でも今はこの状態をずっと維持したくて、3ヶ月に一度通うことにしています。今日は衛生士さんに診てもらふ日だな、つくづく楽しみなんです。これから死ぬまでお世話になるつもり！」

その言葉には、吉田さんと木村歯科医院への心からの信頼があらわれていました。

健康で幸せな人生をサポートできるのが、 何よりもうれしいです



吉田 斐さん
(クリニカル・コーディネーター)

- クリニカル・コーディネーター養成講座 (2007年3月修了)
- クリニカル・コーディネーターアドバンスコース (2007年11月修了)
- クリニカル・コーディネーター実践トレーニングセミナー (2009年4月修了)

が健康につながることを理解していたとき、納得して進んでいたと思います。

最初いらしたときは不安そうなお顔をされていましたが、治療が進むにつれて笑顔を見られるようになりました。本当はもっとも明るい方だったんですね。

「斐さんが健康で幸せな人生を送れるようお手伝いします。それが先生の掲げる理です。私も目指しています。だから西方さんから「今が幸せ」という言葉を聞いた時は涙が出そうになりました。西方さんの幸せがずっと続くよう、今後もサポートしていきます」

初診カウセリングの際に、思いきり笑えなくなつてしまつた。硬いものを召し上げれないこと、肩こりや頭痛があることをうかがいながら、奥歯がないことでいろんな悩みを持っていたんです。ね、特に、笑えないのは辛いこと。なんとかして笑顔になつていきたいと思ひました。西方さんの気持ちにすべて治療に反映されるように、私から先生にきちんと伝えました。

また、インプラントを「提案する」ときに心がけたのは、手術についての説明をきちんとするだけではなく、西方さんについてのメリットをきちんと伝えることでした。